



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



記事を読んで、問いに答えましょう。

解答例

2022年9月9日朝刊東部版

①児童は車いすの乗車体験などを通じて何を学びましたか。

障害者を思いやる心やサポートする方法

②ノンステップバスでも、車いすのままバスに乗るときにはどんなところが難しそうですか。

(例) 介助者が必要で、介助者が車いすを動かす前に声を掛け、入り口のスロープを使ってゆっくりと車内に入るところ。

③障害物が多い場所で車いすに乗っている人がいる場合には、どんな介助が大切になりますか。

(例) 乗っている人の気持ちを考えたやさしい介助

④記事を参考に、日常生活の中でできる弱者へのサポートについて、あなたの考えを30字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

**(例) 弱者の気持ちに思いを巡らせ、サポートすることが大切だ。(27字)
何に困っているのか、声をかけて確かめてからサポートしたい。(29字)
視野を広くし、周囲に困っている人はいないか常に確かめること。(30字)
など**

三島市立長伏小で8日、バリアフリー教室が開かれ、4年生約40人が車いすの乗車体験などを通じて障害者を思いやる心やサポートする方法を学んだ。

ノンステップバスの乗降体験では、児童が2人1組で車いすのまま入り口のスロープを使



車いすでバスに乗る体験を行った児童
三島市立長伏小

まバスに乗る難しさを感じた。介助者の児童は動かす前に声を掛け、入り口のスロープを使う体験も行った。入った。障害物を設けたコースを車いすで進む体験も行った。乗っている人の気持ちを考えることが優しい介助につながる。など指導を受けた。バリアフリーのクイズでは、電車の中で立っている妊婦や足腰が弱い高齢者が横断歩道(三島支局・金野真仁)を渡っている様子などを描いたカードをめくり、何に困っているかを説明し合った。弱者の気持ちに思いを巡らせ、できるサポートなどについても考えた。

年 組 名前

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年~中学校/社会、技術・家庭、総合)